

☆戦争はイヤ！ 安倍改憲にストップを！

これまでの安倍内閣を振りかえる

◆第1次安倍内閣では「日本を取り戻す、美しい国づくり」をスローガンにかかげ、戦前回帰的な考えで2006年、教育基本法を「我が国と郷土を愛する態度を養う」という愛国心等を盛り込み、改悪した。

◆第2次安倍内閣は、冷え切った経済を「アベノミクス」によって甦らせると日銀とともに株価をつり上げ、円安を招いた。その結果、景気が回復し、生活も良くなると期待をしたが、国民生活は一向に改善されず、大金持ちや輸出型大企業だけが大幅に増えた。それによって国民の間には格差が拡大し、また貧困家庭も大幅に増えた。

◆安倍内閣は、緊迫した北朝鮮情勢も加わり、持論である「改憲」に意欲をもやし、5月3日、突如「憲法9条1項、2項をそのままにし、自衛隊の存在を憲法に書き込む」と表明した。

「言行」正反対の安倍首相

◆先の国会では「共謀罪法案」を委員会抜きで強行採決した。また森友学園、加計学園の疑惑、さらに自衛隊の日報隠しや稲田朋美前防衛大臣の都議選応援演説の暴言等によって、7月実施の都議会議員選挙で自民党は惨敗した。

◆8月3日、支持率浮上を狙い、第3次内閣改造を行なったが、支持率は数%しか上がらず思惑通りにはなっていない。

また、野党が6月末に憲法53条に基づき「臨時国会召集」を求めたにも関わらず、3ヶ月以上先送り（9月末召集）していることは、憲法無視の態度ではないでしょうか。都議選後、安倍首相は「謙虚に、丁寧に、国民の負託に応える」と誓ったはずなのに、この対応は国民の不信を一層助長するものです。

安倍首相は「改憲」が最優先

◆安倍首相は、改憲勢力が国会で3分2を握っている間に何としても「改憲」をなしとげたい。支持率低下で改憲のトーンは下がったものの「改憲」案を示すよう自民党政調会長や憲法改正推進本部長に指示をした。

私たちは「護憲」が最優先

◆戦後72年が経ち「秘密保護法」「戦争法」「共謀罪」が成立し、戦争のできる国づくりが進められている。戦争は人を殺し、殺されるものです。この間「憲法9条」によって一人の命も奪わずにきた。私達は、先の戦争を猛省し作られた「憲法9条」を守るのが最優先です。それには、あなたの一声が決め手です。

二〇一七年九月一〇日(日) 護憲平和行進(607回目)

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一一一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合